

予算特別委の審査から

総額は553億165万円に

7会計の予算総額は553億165万円で、前年度より1億4,070万5千円、0.3%の増額となりました。一般会計は前年度に対し4億500万円、1.3%の増。特別会計は6億3,034万5千円、3.7%の減額となっています。
(各会計の予算額は下表のとおり)



▲ロゴスランド・竹林伐採地の現地視察

予算特別委は、令和3年度当初予算7議案を審査し、一般会計と水道事業会計、公共下水道事業会計は賛成多数、その他4会計は全員で可決しました。

委員会は、付託を受けた2月22日に正副委員長を互選、3月15日から延べ7日間にわたり、それぞれの視点から質疑を展開しました。

討論において、一般会計に反対の委員は▽多額の地方債を重ね、市民負担が増加している▽セール・アンド・リースバックは地方自治体がとる施策でなく、容認できない一等と述べ、また水道・公共下水道事業会計に反対の立場から▽水道・下水道の減免制度廃止や今回の下水道料金の値上げは認められない一等と意見を述べました。

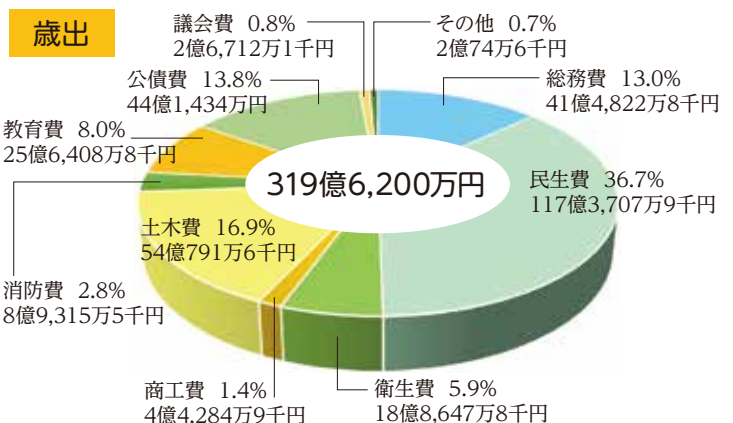
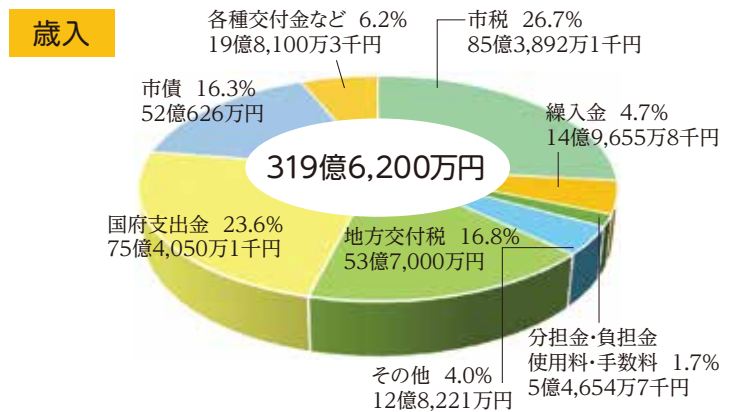
一方、全7会計に賛成の立場からは▽新型コロナウイルス感染症の長期化により、例年にも増して厳しい財政状況のもと、コロナ対策だけでなく、JR奈良線複線化や東部丘陵地整備、産後ケア拡充、ICT教育推進等の新規施策も盛り込まれた予算一等の意見がありました。

令和3年度各会計予算

(1万円未満四捨五入)

会計名	予算額	前年度対比(伸び率)
一般会計	319億6,200万円	1.3%
特別会計		
国民健康保険事業	85億9,632万円	△3.3%
寺田財産区	3,667万円	△76.7%
介護保険	62億5,821万円	△4.8%
後期高齢者医療	14億2,778万円	7.7%
水道事業会計	29億2,620万円	21.9%
公共下水道事業会計	40億9,448万円	△3.7%
総額	553億165万円	0.3%

一般会計 歳入・歳出の内訳



項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります

予算特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

- | | | |
|--------|--------|-------|
| ◎語堂 辰文 | ○澤田扶美子 | 乾 秀子 |
| 上原 敏 | 谷村 浩志 | 西 良倫 |
| 増田 貴 | 相原佳代子 | 谷 直樹 |
| 小松原一哉 | 土居 一豊 | 本城 隆志 |

次期定例会日程 (予定)

- 本会議(開会) 6月17日
- 常任委員会 6月21・22・24・25日
- 本会議 6月30日
- 7月1・5・7日
- 本会議(閉会) 7月9日